

TAKURA WATCHING

今月も町の話が盛りだくさん！



笑いは副作用のない薬

8月21日(水)、中央公民館で高齢者ボランティア養成研修が開催されました。この日はラフター(笑い)ヨガについて研修が行われました。ラフターヨガは、「笑い」に「ヨガの呼吸法」を組み合わせたもので、笑顔づくりにも健康づくりにも効果があるということで近年注目されている健康法です。



水上の戦い

8月24日(土)、渡良瀬遊水地で「Eボートレース2013渡良瀬大会」が開催されました。板倉町をはじめ、栃木市や加須市など渡良瀬遊水地の周辺自治体から多くのチームが参加しました。

板倉町から参加したシーバーンCが準優勝、シーバーンBが3位と大活躍しました。



ネイティブの発音を聞く

9月11日(水)、児童館で「英語であそぼう」が開催されました。「英語であそぼう」では児童館来館者が外国語指導助手といっしょにやさしい英語を使って遊びます。所かおりさん(海老瀬)は「初めて参加しました。身近にあるところでネイティブの発音が聞けるよい機会。また参加したい。」と話しました。



町の伝統文化に触れる

9月12日(木)、北小学校で「子ども伝統芸能学習教室」が行われ、6年生11名が里神楽を体験しました。

児童たちは里神楽保存会の皆さんによる「ひよっこおかめ」の演目を鑑賞した後、太鼓をたたいたり、お面をかぶって扇子を片手に踊りをするなどの体験学習を行いました。



監督が避難所を語る

9月1日(日)、防災の日に合わせて、NPOいわいネットワーク主催の『石巻市立湊小学校避難所』の上映会が東洋大学板倉キャンパスで開催され、約140名が参加しました。

『石巻市立湊小学校避難所』は東日本大震災で多大な被害を被った宮城県石巻市にある小学校の避難所で、藤川桂三監督が避難者たちと寝食をともにしながら、半年にわたる生活を追ったドキュメンタリー映画です。

上映後のトークイベントで藤川監督は、「避難所には避難者だけでなく、ボランティア、自衛隊、救護関係、マスコミなど、たくさんの方がいて、どこで何が行われているのかわからないほどでした。その中で驚いたのは、避難者の皆さんが明るくふるまっていたこと。しかし、その奥底には悲しい気持ちをしまい込んでいるということが見えてきて、毎日を精一杯気を張って生きているということに気づきました。この映画をとおして、避難者の皆さんの本音の言葉や心を少しでも多くの人に伝えられれば」と話しました。



太陽光発電所が稼働

8月23日(金)、板倉ニュータウン太陽光発電所の竣工式が行われました。この発電所は、群馬県が「優れた群馬の環境を守り未来へ継承するための取組み」として、太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入を進める「電源群馬プロジェクト」の第1号となる発電所です。発電最大出力は2,268キロワット、年間供給電力量は一般家庭の約700世帯分の年間消費電力に相当します。